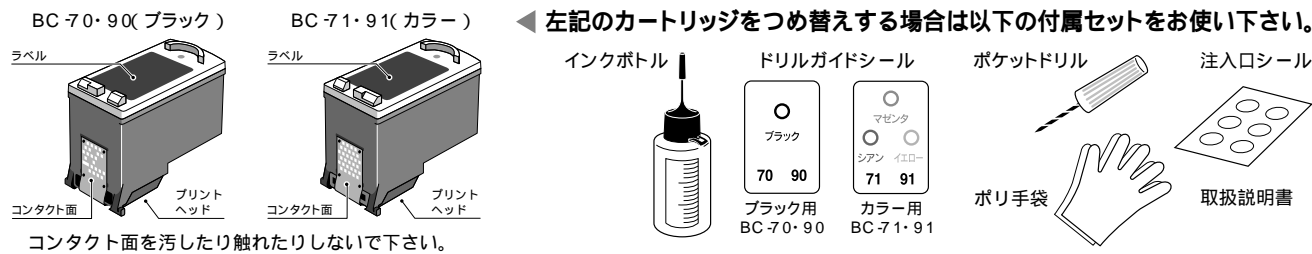


インクジェットプリンタ用 つめ替えインク共通取扱説明書

ご使用前に必ずお読み下さい。



つめ替え手順 A ブラック

1 ドリルガイドシールをカートリッジに貼る

ドリルガイドシールのお使いのカートリッジ番号に印を付け、カートリッジのラベルに合わせて貼り付けてください。

注意

作業は新聞紙やペーパータオルなどを敷き、その上で行ってください。

2 カートリッジにインク注入口をあける

ドリルガイドシールの丸い穴にポケットドリルの先端を合わせ、垂直に立てた状態で少し力を加えながらゆっくり時計方向に回転させ、まっすぐ穴をあけます。

3 インクボットのゴムキャップをはずす

手袋を着用します。インクボットのゴムキャップを取り外したり開けたりする際は、キャップの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。

注意

インクボット部分は絶対に押さえないでください。インクが飛び出すことがあります。(ゴムキャップを開ける際はノズル先端から1cm程差し込んでください。)

4 インクを注入する

カートリッジを横向きにし、手順で開けた注入口にインクボットのノズルの先端を1cmほど差し込みます。そのままの状態でもカートリッジとインクボットを起こし、いったんボットのノズルを注入口がふさがるまで差し込み、次に5mmほど引き上げて、ゆっくりとボットをしぼりながらインクを注入します。

注意

差し込みすぎに注意し、注入口に空気逃げのスキ間を必ず開けてください。つめかえ中に注入口やプリントヘッドからインクがあふれたり、漏れたりした場合はその時点で注入を終了してください。

注意

つめかえで入るインク量は、1～2回目はおおむね標準量より多く入り、3回目以降は少なくなります。上記の注入量はインクを使い切ったときの平均的な推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。

注入量の目安

BC-70	標準量 約10ml
BC-90 (大容量タイプ)	標準量 約15ml

5 注入口にシールを貼る

注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどでふき取り、付属の注入口シールを貼ります。つめかえ回数を確認できるよう、注入口シールに回数を記入しておきます。

6 ヘッドからのインクの確認をする

厚く重ねたティッシュペーパー等にプリントヘッドを2～3回押し当てて余分なインクを取り除き、その後、図のようにインクのにじみ跡がはっきりと確認できたら完了です。

注意

プリントヘッド部分は強く拭いたりこすったりしないでください。紙の繊維がほこりびプリントヘッドのノズルの穴に入り込み、印刷不良となることがあります。

これでつめ替え作業は終了です。

つめ替えたあとの作業について

インク残量検知機能無効操作について
本カートリッジを使用するプリンタの特性上、いったん外したカートリッジを付け直した際に「インク残量を正しく検知できません」ということを知らせるメッセージが表示されることがあります。継続して使用するにはインク残量検知機能を解除しなければなりませんので、つめかえをしたカートリッジを使用する場合もこの操作を行う必要があります。(この作業方法についてはキヤノンとは無関係であり、承認されたものではありません。)

インク残量検知機能を無効にした後はインク残量警告やインク残量が表示されませんので、印刷の際はあらかじめノズルチェックパターンなどでインクの有無を確認しながら行ってください。

ノズルチェックや印刷にかすがみられる場合は早めにつめかえを行ってください。インク残量検知機能はカートリッジを再び新品カートリッジにかえることにより、有効になります。

裏面の印刷続行操作とインク残量検知機能の無効操作手順Aに従ってください。

8 クリーニング・印字テスト

最初にクリーニングを1回行い、印字テストを行ってください。プリントがよくない場合は、もう一度クリーニングと印字テストを行ってください。クリーニングと印字テスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。クリーニングの繰り返しはインクカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照して下さい。

つめ替えが終わったら

つめかえた後の残ったインクはキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け涼しいところに立て、次のつめかえまで保管してください。

2回目以降のつめ替え

注入口シールをはがし、 - の手順でつめかえを行ってください。

つめ替え回数(奨励限度回数)

つめかえによるカートリッジの再利用は3～4回までが適当です。それ以上のつめ替えはインク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめ替えたカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジをお使いになることをお勧めします。

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

対応カートリッジ・対応プリンタはパッケージをご覧ください。

お使いの前に

つめ替えたインクカートリッジを使って下記のプリンタで印刷するには、印刷続行操作とインク残量検知機能の無効操作を行う必要があります。

PXUS P1700、P2200、MP460、MP450、MP170

本取扱説明書のつめ替え手順のあとの「印刷の続行操作とインク残量検知機能を無効にする操作」を参考にすればインク残量は表示されなくなりますが、つめ替えたインクカートリッジによる印刷が行えます。

この操作による表示解除はつめ替えて使用したカートリッジだけであり、新品カートリッジを取り付けた後は、残量検知機能と残量表示は有効に戻ります。インクをつめ替えたカートリッジやそれを使用したプリンタは、メーカーによっては不正改造にあたりとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不具合、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。インクカートリッジのコンタクト面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

つめ替え手順 B カラー

1 ドリルガイドシールをカートリッジに貼る

カートリッジの中は3色のインクに分けられており、ドリルガイドシールの色別の丸い穴が各色の配置と注入口をあける位置を示すものです。ドリルガイドシールのお使いのカートリッジ番号に印を付け、カートリッジのラベルに合わせて貼り付けてください。

注意

作業は新聞紙やペーパータオルなどを敷き、その上で行ってください。

2 カートリッジにインク注入口をあける

ドリルガイドシールのつめかえをする色の丸い穴にポケットドリルの先端を合わせ、垂直に立てた状態で少し力を加えながらゆっくり時計方向に回転させて、まっすぐ穴をあけます。

注意

インクがなくなつてつめかえをする色だけ穴をあけてください。(イラストはイエローのつめかえを例にしています。)

3 インクボットのゴムキャップをはずす

手袋を着用します。インクボットのゴムキャップを取り外したり開けたりする際は、キャップの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。

注意

インクボット部分は絶対に押さえないでください。インクが飛び出すことがあります。(ゴムキャップを開ける際はノズル先端から1cm程差し込んでください。)

4 インクを注入する

カートリッジを横向きにし、手順で開けた注入口にインクボットのノズルの先端を1cmほど差し込みます。そのままの状態でもカートリッジとインクボットを起こし、いったんボットのノズルを注入口がふさがるまで差し込み、次に5mmほど引き上げて、ゆっくりとボットをしぼりながらインクを注入します。

注意

差し込みすぎに注意し、注入口に空気逃げのスキ間を必ず開けてください。つめかえ中に注入口やプリントヘッドからインクがあふれたり、漏れたりした場合はその時点で注入を終了してください。

注意

つめかえで入るインク量は、1～2回目はおおむね標準量より多く入り、3回目以降は少なくなります。上記の注入量はインクを使い切ったときの平均的な推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。

注入量の目安

BC-71	標準量 約4ml
BC-91 (大容量タイプ)	標準量 約7ml

つめかえの前に

準備(汚れ防止のための準備)

つめかえの時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業をしてください。手や着衣にインクが付かないよう付属の手袋をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。

確認

長期間プリンタを使っていない場合は、必ず印刷できるか確認してください。また、取り外して放置されていたカートリッジは、インクが正常に出て印刷できるか確認してください。正常でないカートリッジをつめ替えても印字不良となります。

インク成分	ブラック 顔料(蒸留水150-60%(溶剤 グリコール))20-30%(その他顔料など)12-10%
	シアン (蒸留水170-80%(溶剤 グリコール・イソプロピルアルコールなど)1-10%(染料)1-15%
	マゼンタ (蒸留水160-70%(溶剤 グリコール・イソプロピルアルコールなど)1-15%(染料)15-25%
	イエロー (蒸留水170-80%(溶剤 グリコール・イソプロピルアルコールなど)1-10%(染料)1-15%

5 注入口にシールを貼る

注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどでふき取り、付属の注入口シールを貼ります。つめかえ回数を確認できるよう、注入口シールに回数を記入しておきます。

6 ヘッドからのインクの確認をする

厚く重ねたティッシュペーパー等にプリントヘッドを2～3回押し当てて余分なインクを取り除き、その後、図のようにインクのにじみ跡がはっきりと確認できたら完了です。

注意

プリントヘッド部分は強く拭いたりこすったりしないでください。紙の繊維がほこりびプリントヘッドのノズルの穴に入り込み、印刷不良となることがあります。

これでつめ替え作業は終了です。

つめ替えたあとの作業について

インク残量検知機能無効操作について
本カートリッジを使用するプリンタの特性上、いったん外したカートリッジを付け直した際に「インク残量を正しく検知できません」ということを知らせるメッセージが表示されることがあります。継続して使用するにはインク残量検知機能を解除しなければなりませんので、つめかえをしたカートリッジを使用する場合もこの操作を行う必要があります。(この作業方法についてはキヤノンとは無関係であり、承認されたものではありません。)

インク残量検知機能を無効にした後はインク残量警告やインク残量が表示されませんので、印刷の際はあらかじめノズルチェックパターンなどでインクの有無を確認しながら行ってください。

ノズルチェックや印刷にかすがみられる場合は早めにつめかえを行ってください。インク残量検知機能はカートリッジを再び新品カートリッジにかえることにより、有効になります。

裏面の印刷続行操作とインク残量検知機能の無効操作手順Bに従ってください。

8 クリーニング・印字テスト

最初にクリーニングを1回行い、印字テストを行ってください。プリントがよくない場合は、もう一度クリーニングと印字テストを行ってください。クリーニングと印字テスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。クリーニングの繰り返しはインクカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照して下さい。

つめ替えが終わったら

つめかえた後の残ったインクはキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け涼しいところに立て、次のつめかえまで保管してください。

2回目以降のつめ替え

注入口シールをはがし、 - の手順でつめかえを行ってください。

つめ替え回数(奨励限度回数)

つめかえによるカートリッジの再利用は3～4回までが適当です。それ以上のつめ替えはインク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめ替えたカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジをお使いになることをお勧めします。